令和7年 業種別労働災害発生状況

(令和7年10月末現在)

旭川労働基準監督署

区分		令和7年			前年同期			対 前 年		業種 割合	令和6年(確定)					
業種別		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増 減 数	増減率	(%)	列	亡	休業	合計		
		業合意	計	2	467	469	1	485	486	-17	-3.5	100.0		3	673	676
製	Į	造	業		68	68	1	65	66	2	3.0	14.5		3	86	89
	食	料	品		29	29		16	16	13	81.3	6.2		1	23	24
内	木材	・家具装体	構品		10	10		15	15	-5	-33.3	2.1			22	22
	紙	・パル	プ		1	1				1		0.2				
	窯	業・土	石		3	3		4	4	-1	-25.0	0.6			4	4
訳	金	属・機	械		8	8		12	12	-4	-33.3	1.7		1	12	13
	そ	の 1	他		17	17	1	18	19	-2	-10.5	3.6		1	25	26
土	石	採取	業		2	2		4	4	-2	-50.0	0.4			4	4
建	<u> </u>	設	業		58	58		45	45	13	28.9	12.4			58	58
内	土	木工事	業		32	32		17	17	15	88.2	6.8			18	18
	建	築工事	業		19	19		22	22	-3	-13.6	4.1			32	32
	木	造建築	業		5	5		3	3	2	66.7	1.1			5	5
訳	そ	の 1	他		2	2		3	3	-1	-33.3	0.4			3	3
道	道路貨物運送業				51	51		44	44	7	15.9	10.9			69	69
そ	その他の運輸業			9	9		12	12	-3	-25.0	1.9			15	15	
陸	陸上貨物運送事業													1	1	
林	ζ.	į	業		5	5		8	8	-3	-37.5	1.1			9	9
卸	〕売	・小売	業	1	61	62		49	49	13	26.5	13.2			80	80
清	Ī	掃	業		30	30		37	37	-7	-18.9	6.4			41	41
そ	その他の事業		業	1	183	184		221	221	-37	-16.7	39.2			310	310
内	農	業・畜産	業		20	20		19	19	1	5.3	4.3			31	31
	社会	会福祉施	設		69	69		66	66	3	4.5	14.7			92	92
訳	そ	の 1	他	1	94	95		136	136	-41	-30.1	20.3			187	187

本統計は、労働者死傷病報告書(休業4日以上)により集計したもの。

管轄は旭川市、上川町、愛別町、比布町、当麻町、鷹栖町、東神楽町、東川町、美瑛町、幌加内町、富良野市 上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の2市、12町、1村です。

今月のコメント

- ・令和3年10月に発生した死亡災害を最後に<mark>統計史上初めて建設業死亡災害ゼロを4年間継続</mark>することができました。 今後も死亡災害ゼロが継続されるよう、建設現場の安全対策等に取り組んでください。
- ・建設工事追い込み期労働災害防止運動期間中です。(10/1~12/31)

墜落・転落災害、重機等災害、崩壊・倒壊災害、交通労働災害、急性中毒、火災を重点とした取り組みをお願いいたします。

・毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会へ

週40時間を超える時間外・休日労働時間が概ね月45時間を超えて長くなれば長くなるほど健康障害のリスクが高まるとされています。時間外・休日労働時間の削減、職場における健康管理やメンタルヘルス対策及び職場のハラスメント防止等に取り組みましょう。

死亡災害ゼロ継続日数 (令和7年10月末現在)

·製造業 10か月

·建設業 4年

·運送業 4年3か月 ·林業 2年3か月

·農業 3年5か月

令和7年 死亡労働災害発生状況

(令和7年10月末現在)

旭川労働基準監督署

	発 生 月	時刻	業種	事故 の型	起因物	災害発生概況
1	1	14	通信業	交通事故	搬・積込	被災者は、バイクにより郵便配達作業中、後退してきた除 雪作業中のモーター・グレーダーに激突され、下敷きに なったもの。
2	8	14	その他 卸売業	飛来、 落下	フォーク リフト	被災者は、フォークリフトでミニドラグ・ショベルを持ち上げ、ミニドラグ・ショベルの下に潜り込みドレン抜き作業を行っていたところ、ミニドラグ・ショベルがフォークリフトの爪から滑り落ち、被災者がミニドラグ・ショベルの本機と排土板との間に体を挟まれたもの。

本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。